

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 4 区分

【発行日】平成 16 年 8 月 26 日 (2004.8.26)

【公開番号】特開 2003-187554 (P2003-187554A)

【公開日】平成 15 年 7 月 4 日 (2003.7.4)

【出願番号】特願 2001-388336 (P2001-388336)

【国際特許分類第 7 版】

G 1 1 B 27/00

G 0 6 F 1/00

G 0 6 F 12/00

G 1 1 B 20/10

【F I】

G 1 1 B 27/00 A

G 0 6 F 12/00 5 0 1 A

G 1 1 B 20/10 D

G 1 1 B 20/10 3 2 1 Z

G 0 6 F 9/06 6 6 0 C

【手続補正書】

【提出日】平成 15 年 8 月 12 日 (2003.8.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 4】

少なくとも前記記録メディアが配送されて受け取られた際の受取日時を管理する配送管理手段を備え、

前記設定情報には、前記再生手段から前記記録メディア管理手段に最初にアクセスした最初のアクセス日時が含まれており、さらに前記受取日時から前記最初のアクセス日時までの経過時間が含まれる構成としたことを特徴とする請求項 1 に記載の記録メディア管理装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 9】

少なくとも前記記録メディアが配送されて受け取られた際の受取日時を管理する配送管理手段を備え、

前記設定情報には、前記再生手段から前記記録メディア管理手段に最初にアクセスした最初のアクセス日時が含まれており、さらに前記受取日時から前記最初のアクセス日時までの経過時間が含まれることを特徴とする請求項 6 に記載の記録メディア管理方法。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 9】

請求項４の発明は、請求項１の構成において、少なくとも前記記録メディアが配送されて受け取られた際の受取日時を管理する配送管理手段を備え、
前記設定情報には、前記再生手段から前記記録メディア管理手段に最初にアクセスした最初のアクセス日時が含まれており、さらに前記受取日時から前記最初のアクセス日時までの経過時間が含まれる構成としたことを特徴とする。

請求項４の構成によれば、請求項１の作用に加えて、受取日時からアクセス日時までの差である経過時間を見れば、記録メディアを受け取ったユーザの興味を把握することができる。従って、記録メディアについての上記経過時間を見れば、ユーザの興味についてマーケティングを行うことができる。

【手続補正４】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１４

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１４】

請求項９の発明は、請求項６の構成において、少なくとも前記記録メディアが配送されて受け取られた際の受取日時を管理する配送管理手段を備え、
前記設定情報には、前記再生手段から前記記録メディア管理手段に最初にアクセスした最初のアクセス日時が含まれており、さらに前記受取日時から前記最初のアクセス日時までの経過時間が含まれることを特徴とする。

請求項９の構成によれば、請求項６の作用に加えて、受取日時からアクセス日時までの差である経過時間を見れば、記録メディアを受け取ったユーザの興味を把握することができる。従って、記録メディアについての上記経過時間を見れば、ユーザの興味についてマーケティングを行うことができる。

【手続補正５】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００２４

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００２４】

上記ドライブ装置１１は、例えば光ディスク３が着脱可能なコンピュータや情報端末であり、ソフトウェアとして送受信部２９（取得送信手段）及び読取部３１（取得送信手段）を備えている。読取部３１は、記録メディア３に記録されているプロモーションソフトウェア等のデータを読み取る機能を有するドライバソフトウェアである。この読取部３１は、光ディスク３がドライブ装置１１に装着された際に最初に自動的に起動される。この読取部３１は、各光ディスク３を区別するために各光ディスク３に付された識別子としての識別番号を自動的に少なくとも読み取る機能を有する。送受信部２９は、読み取った識別番号を後述するメディア情報管理サーバ９に送信する機能を有する。上記プロモーションソフトウェアは、例えば再生装置に装着されると自動的に起動する機能を有する。

【手続補正６】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００４４

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００４４】

もし設定されていなければ、エラーであるので（ステップＳＴ１０）、送信部２３を經由してドライブ装置１１に対してその旨を通知する。ドライブ装置１１は、エラーである旨に基づいて、所定のエラー情報を表示する。もし設定されていれば、ステップＳＴ１１では、メディア情報取得部１９が、メディア情報管理データベース２７から、この識別番号に基づいて図３に示すようなメディア情報の内、少なくとも「現在の所有者」及び「住所

（電話番号）」に関するメディア情報を取得し、送受信部 2 3 を経由してドライブ装置 1 1 に対してメディア情報を送信して提供する（取得送信ステップ）。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 5 0】

メディア管理システム 1 a等には、第 1 実施形態における構成に加えてさらに、配送管理ステップを実行する配送管理サーバ 1 4（配送管理手段）が設けられている。この配送管理サーバ 1 4 は、例えば少なくとも光ディスク 3 が配送されて受取者によって受け取られた際の受取日時を管理する機能を有する。この配送管理サーバ 1 4 は、主に図 7 のステップ S T 4 における流通に関する手段を具体化するためのシステムである。この配送管理サーバ 1 4 において特徴的なことは、記録メディア 3 についてのメディア情報が、記録メディア 3 が配送される際に、メディア情報管理サーバ 9 のメディア情報管理データベース 2 7 に識別番号毎に登録されていることである。このようにすると、記録メディア 3 の発送時には、確実にそのメディア情報がメディア情報管理データベース 2 7 に登録されているようにすることができる。

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 5 1】

この配送管理サーバ 1 4 は、送受信部 3 3，検索登録部 3 5 及び配送管理データベース 3 7 を有している。

この送受信部 3 3 は、ドライブ装置 1 1 の送受信部 2 9 との間で識別番号を受信し、光ディスク 3 の配送に関する情報を送信する機能を有するとともに、工場 7 側の識別番号登録装置 1 5 からの識別番号を受信する機能を有する。つまり、識別番号登録装置 1 5 は、第 1 実施形態と異なり、メディア情報管理サーバ 9 のみならず、配送管理サーバ 1 4 に対しても識別番号を送信する機能を有する。また、この配送管理サーバ 1 4 の送受信部 3 3 は、メディア情報管理サーバ 9 の送受信部 2 3 との間で識別番号及びメディア情報を交換する機能を有する。

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 5 2】

検索登録部 3 5 は、光ディスク 3 に記録される識別番号をキーとして、この光ディスク 3 の配送に関する情報を検索したり登録する機能を有する。配送管理サーバ 1 4 は、例えばドライブ装置 1 1 から送られた、ある光ディスク 3 の識別番号に基づいて、配送管理データベース 3 7 から、その光ディスク 3 の配送に関する情報（以下「配送情報」という）をドライブ装置 1 1 に提供する機能を有する。

【手続補正 10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 5 5】

ここで、例えばメディア情報管理サーバ 9 のメディア情報管理データベース 27 において、「最初のアクセス日時」や「受取から最初のアクセスまでの時間」を設けておくと、メディア情報管理サーバ 9 は、配送管理サーバ 14 側の受取日時を取得し、図 3 に示す「最初のアクセス日時」との差で求めた「受取から最初のアクセスまでの時間」を求めることができる。この「受取から最初のアクセスまでの時間」は、例えばドライブ装置 11 のユーザが、光ディスク 3 のプロモーションソフトウェアによって紹介される商品にどの程度興味を持っているかの指標を示している。従って、このような項目の存在によって、メディア情報管理サーバ 9 は、光ディスク 3 のプロモーションソフトウェアによって紹介される商品についてのマーケティングを行うことができる。

【手続補正 11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0058

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0058】

具体的にはドライブ装置 11 に設けられた図 10 に示す表示部 59 には上記識別番号が表示される。登録ボタン 67 は、この識別番号が正しい場合に押されるボタンであり、再入力ボタン 69 は、表示されている識別番号を修正した後に押されるボタンである。例えばドライブ装置 11 の操作者は、記録メディア 3 の識別番号が読みとれない場合には例えば記録メディア 3 を格納する上記ジュエルケースに予め付された識別番号を入力することで、識別番号を記録メディア管理サーバ 9 に送信することができる。

【手続補正 12】

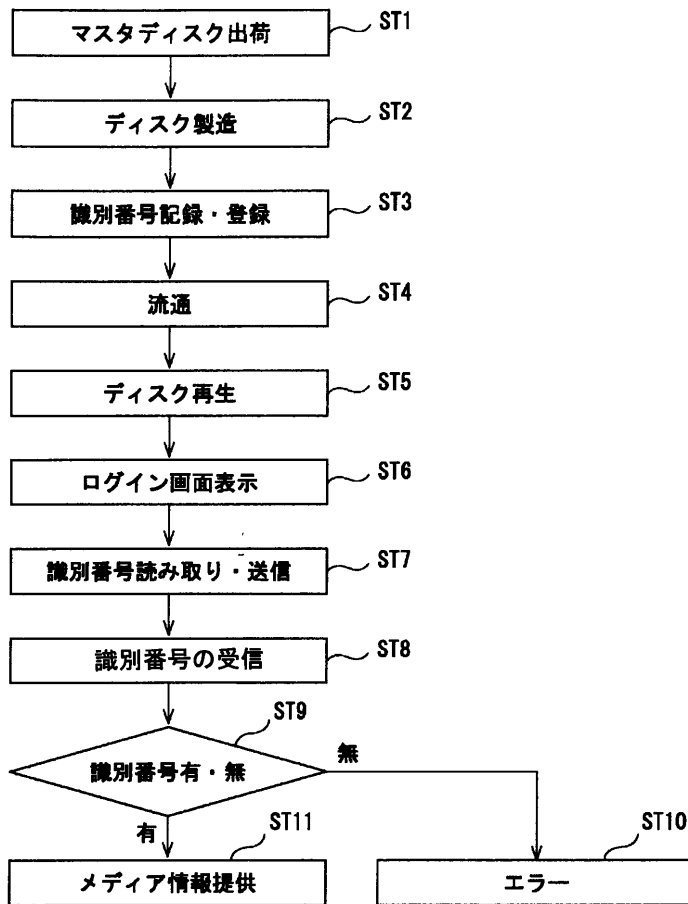
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 図 7 】



【 手 続 補 正 1 3 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 図 面

【 補 正 対 象 項 目 名 】 図 8

【 補 正 方 法 】 変 更

【 補 正 の 内 容 】

【 図 8 】

